



しおかぜ

うしおだしょうがっこう しゅうねん つ
潮田小学校 150周年「継ぐ」から「つなぐ」

じどうかい
児童会スローガン「ワールド フラワー ガーデン」



よこはましりつうしおだしょうがっこう
横浜市立潮田小学校
2023年4月28日

開校 それから150年

こうちやう こいすみ ひろし
校長 小泉 博史

今年度は始めて約1か月が経ちました。子どもたちは新しい学級の中で、新しい友だち関係を築き始めています。意欲的に学習をしている姿や、楽しそうに友だちと休み時間過ごしている姿を数多く見ることができとても嬉しく思っています。1年生も小学校生活に少しずつ慣れてきているようです。しおかぜ先生のサポートはもちろんですが、最上級生の6年生も1年生の教室に行き、給食の片付けや掃除など多くの世話をしてくれています。「お兄さんありがとう。」「お姉さんいつも優しいんだよ。」などよいかかわりを感じています。「友だち・人」を大切に作る気持ちをどんどん膨らませてほしいです。

創立150周年の児童会スローガンの「ワールド フラワー ガーデン」には、潮田小学校の良いところを増やし、育てていき いっぱいにするという意味が込められています。今年度子どもたちが、たくさんの良さを身に付け、育てられるように支援していきたいです。



記念キャラクター「ちきゅまる」

さて、潮田小学校の創立記念日は5月15日です。資料によると150年前潮田村の民家を借りて「潮田学舎」という名前誕生したのが明治6（1873）年6月6日です。明治6年6月6日に「潮田学舎」としてスタートしてから学校の場所が何回か変わり、学校の名前も変わり、子どもの数も増える中で現在の場所に大きくなってすばらしい校舎を作り開校したのが大正8（1919）年4月1日です。開校式がその年の5月15日に行われました。つまり、潮田小学校は6月6日にスタートしたけれど、今の場所に移って新校舎を建て、開校式をした日を創立記念日にしたというわけです。

150年前の潮田小学校は様々なことが今の小学校とは違います。その時代その時代に合った教育活動が行われていたと思います。学校ができた当時は、家の仕事をする子どもがいなくなるのは困るからと学校へ行かせなかったり、小さいきょうだいをおんぶして学校に来たりする子どももいたようです。関東大震災では校舎の一つがすべて崩れてしまったということです。そして太平洋戦争、横浜大空襲によって潮田小学校の校舎は丸焼けになりました。しかし2年後、東潮田小学校と西潮田小学校に分かれていた学校も一つとなり「横浜市立潮田小学校」として再出発したのです。



今年度、創立150周年を迎える子どもたちには、多くのひとたちによって支え作られてきた学校を大切に思うことと、これからの潮田小学校をよりよくしていくのは自分たちであることを自覚し活動して行ってほしいと思います。